

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**名古屋鉄道株式会社**（証券コード:9048）

## 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+

## ■格付事由

- 中京圏を主たる事業エリアとする民鉄大手。名古屋駅周辺や沿線主要駅に多くの不動産賃貸施設を有する。交通事業および不動産事業以外にも、運送事業、レジャー・サービス事業、流通事業、航空関連サービス事業など幅広く事業を展開している。24年3月に鉄道の運賃改定が実施される予定である。また25/3期には子会社である名鉄運輸と日本通運の特積み事業および同社の子会社であるNX トランスポートとの統合が計画されている。名駅再開発計画は24年度を目途に事業の方向性を判断するものとしている。
- 交通事業やレジャー・サービス事業を中心に、業績は改善傾向にある。引き続き、中部国際空港の発着便数の増加などに伴い、これら事業での需要回復が想定される。また鉄道の運賃改定および事業構造改革による固定費削減の効果なども見込まれることから、当面、堅調な業績推移が予想される。財務内容は良好であり、引き続き現状の財務健全性を維持出来ると見られる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/3期営業利益は300億円（23/3期比32.0%増）と計画されている。鉄道やバスにおける輸送人員の回復、ホテル稼働率や宿泊単価の改善などが増益に寄与する見通し。25/3期も増益基調が続くとJCRは考えている。名鉄運輸と日本通運の特積み事業などとの統合では、経営資源の有効活用による業務の効率化などに取り組む方針である。国内における貨物量の大きな増加が見込めない中、シナジー効果を高められるか確認していく。
- 23/3期末の自己資本比率は32.8%（22/3期末は32.3%）、ネット有利子負債/EBITDA倍率は7.2倍（同10.6倍）と改善。引き続き、不動産領域の強化に向けた積極的な設備投資などが想定される。しかし、こうした投資は一定の財務規律のもとで実行される見込みであることから、当面、財務健全性が損なわれる懸念は小さい。名駅再開発計画では、相応の資金負担が生じる可能性がある。プロジェクトの期間や事業費などの具体化に向けた動き、本格的な資金支出までの財務強化の進捗状況が今後の注目点である。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

## ■格付対象

発行体：名古屋鉄道株式会社

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債	400億円	2014年12月11日	2024年12月11日	利息を付さない	A+
第50回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2015年4月30日	2027年4月30日	0.857%	A+
第52回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2016年8月31日	2036年8月29日	0.750%	A+
第53回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年2月28日	2035年2月28日	0.850%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第54回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年5月31日	2037年5月29日	0.806%	A+
第55回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年12月6日	2037年12月4日	0.790%	A+
第56回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年5月25日	2038年5月25日	0.748%	A+
第57回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年9月12日	2038年9月10日	0.863%	A+
第58回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年4月25日	2039年4月25日	0.725%	A+
第59回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年9月5日	2039年9月5日	0.530%	A+
第60回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年4月30日	2040年4月27日	0.780%	A+
第63回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年10月26日	2040年10月26日	0.690%	A+
第64回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年3月23日	2026年3月23日	0.090%	A+
第65回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100億円	2021年12月16日	2028年12月15日	0.200%	A+
第66回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年6月8日	2032年6月8日	0.549%	A+
第67回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年12月23日	2025年12月23日	0.31%	A+
第68回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100億円	2023年7月13日	2028年7月13日	0.375%	A+
第69回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2023年7月13日	2033年7月13日	0.794%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	1,500億円	2023年4月1日から2年間		A+	

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年11月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「鉄道」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 名古屋鉄道株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

**予備格付**：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル